

V ポイントカード等の保有・利用状況

1 概要

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは北海道地方

世帯全体について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合は全国で72.2%となっており、前年に比べ2.5ポイントの上昇となっている。これを地方別にみると、北海道が78.1%と最も高く、次いで関東が77.0%、近畿が72.7%などとなっている。また、前年と比べると、九州・沖縄では6.1ポイントの上昇と最も大きく、次いで北陸では6.0ポイントの上昇などとなっている。ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を都市階級別にみると、大都市が77.5%と最も高くなっている。

また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合は全国で20.5%となっている。

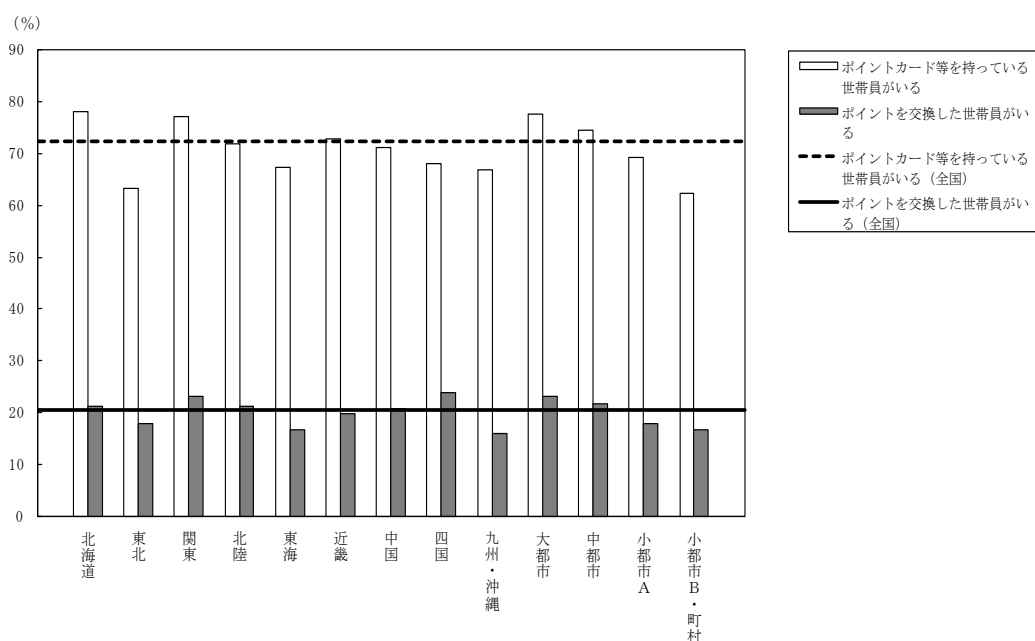
(表24、図24)

表24 全国・地方・都市階級別ポイントカード等の保有状況の推移（総世帯）

	全国	地方									都市階級			
		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	大都市	中都市	小都市A	小都市B・町村
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】														
平成20年	63.7	62.8	56.6	71.1	59.8	56.8	65.9	60.4	56.7	55.4	69.6	66.2	60.4	53.8
21 (a)	69.7	72.2	63.7	74.5	65.9	66.4	72.7	68.4	62.8	60.7	75.1	71.0	70.0	57.3
22 (b)	72.2	78.1	63.3	77.0	71.9	67.2	72.7	71.0	68.0	66.8	77.5	74.5	69.2	62.3
ポイント差(b-a)	2.5	5.9	-0.4	2.5	6.0	0.8	0.0	2.6	5.2	6.1	2.4	3.5	-0.8	5.0
【ポイントを交換した世帯員がいる】														
平成20年	18.6	15.9	17.4	22.5	17.2	13.7	18.4	19.9	16.2	14.7	20.5	19.9	17.3	14.8
21 (a)	20.5	17.4	19.3	24.2	18.4	16.7	21.0	20.8	16.1	16.4	23.7	20.8	19.9	15.4
22 (b)	20.5	21.4	18.0	23.1	21.3	16.8	19.8	20.9	24.0	16.1	23.1	21.8	18.0	16.8
ポイント差(b-a)	0.0	4.0	-1.3	-1.1	2.9	0.1	-1.2	0.1	7.9	-0.3	-0.6	1.0	-1.9	1.4

(注) 地方・都市階級ごとの世帯総数に対する割合。図24も同じ。

図24 全国・地方・都市階級別ポイントカード等の保有状況（総世帯） — 平成22年



(2) ポイントで交換したもので最も多いのは食品

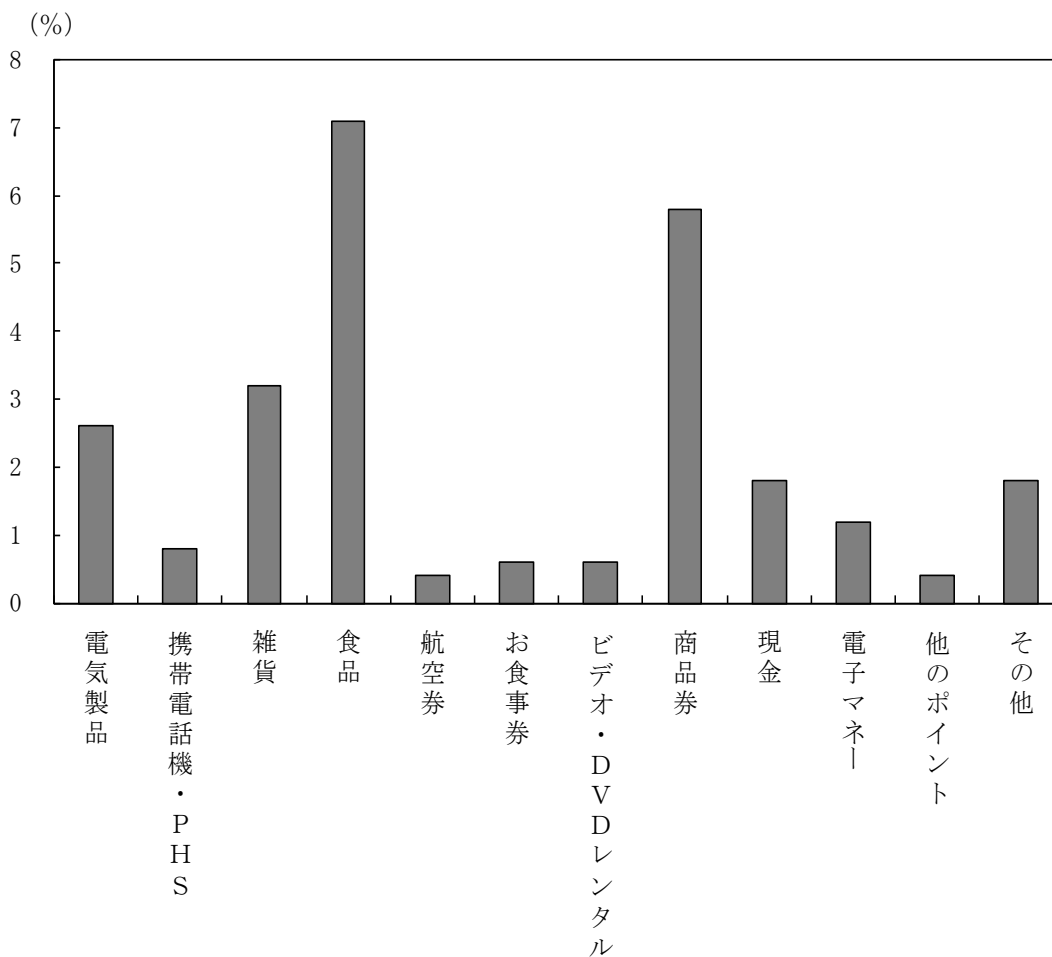
世帯全体について、貯めたポイントで交換したものの（複数回答）の割合をみると、食品（飲料含む）が7.1%と最も高く、次いで商品券が5.8%、雑貨が3.2%などとなっている。（表25、図25）

表25 貯めたポイントで交換したものの推移（総世帯）

	電気製品 1)	携帯電話機 ・ PHS	雑貨	食品 2)	航空券 3)	食事	ビデオ・ DVD レンタル	商品券	現金	電子マネー	他の ポイント	その他
平成20年	2.8	0.7	3.3	5.7	0.4	0.4	0.6	5.2	1.4	0.4	0.4	1.7
21	3.0	0.7	3.4	6.6	0.5	0.4	0.7	5.2	1.5	0.6	0.5	1.7
22	2.6	0.8	3.2	7.1	0.4	0.6	0.6	5.8	1.8	1.2	0.4	1.8

（注）複数回答
1) 消耗品含む。
2) 飲料含む。
3) アップグレード含む。
図25も同じ。

図25 貯めたポイントで交換したものの（総世帯）－平成22年



2 世帯主の年齢階級別

ポイントカード等の保有割合が最も高いのは40～49歳の世帯

二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が85.2%と最も高く、次いで30～39歳が83.9%などとなっている。また、前年と比べると、70歳以上が4.9ポイントの上昇と最も大きく、次いで60～69歳が3.8ポイントの上昇などとなっている。

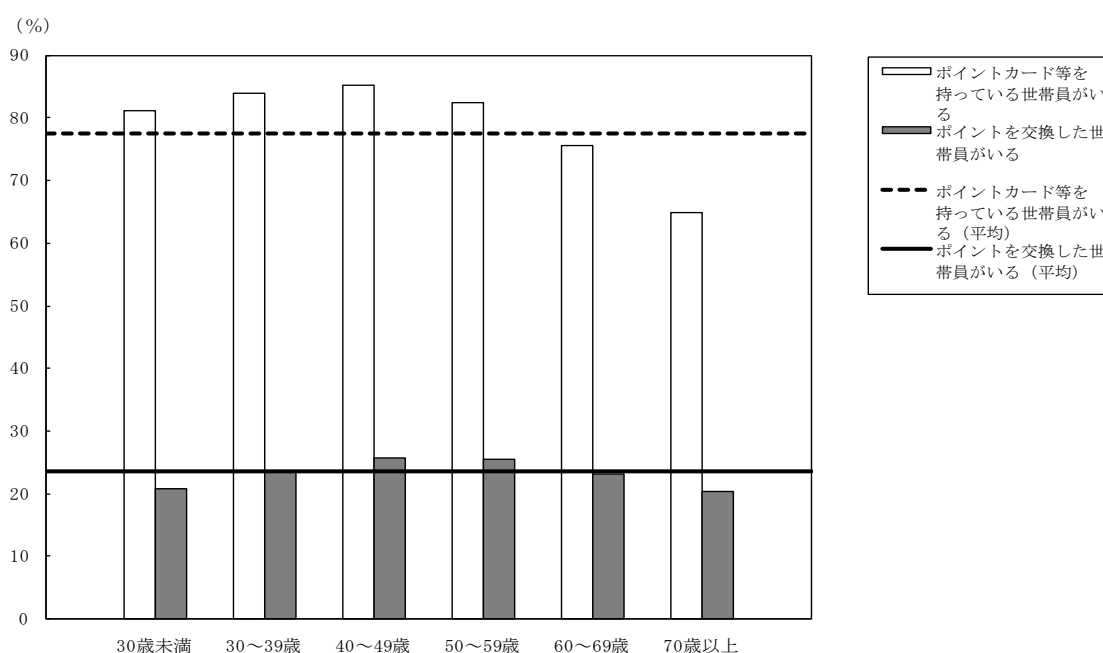
また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が25.7%と最も高くなっている。また、前年と比べると、70歳以上が0.6ポイントの上昇と最も大きく、次いで60～69歳が0.1ポイントの上昇などとなっている。(表26、図26)

表26 世帯主の年齢階級別ポイントカード等の保有状況の推移（二人以上の世帯）

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
(%)							
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】							
平成20年	69.3	75.7	80.7	81.1	74.5	67.0	52.5
21 (a)	74.8	82.1	84.1	84.0	80.2	71.9	60.1
22 (b)	77.5	81.1	83.9	85.2	82.5	75.7	65.0
ポイント差(b-a)	2.7	-1.0	-0.2	1.2	2.3	3.8	4.9
【ポイントを交換した世帯員がいる】							
平成20年	21.4	19.2	22.9	25.3	24.4	20.5	15.9
21 (a)	23.8	21.5	23.9	27.1	26.4	23.0	19.7
22 (b)	23.5	20.9	23.6	25.7	25.6	23.1	20.3
ポイント差(b-a)	-0.3	-0.6	-0.3	-1.4	-0.8	0.1	0.6

(注) 年齢階級ごとの世帯総数に対する割合。図26も同じ。

図26 世帯主の年齢階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）－平成22年



3 世帯主の勤めか自営かの別

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは会社などの役員の世界帯

二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を世帯主の勤めか自営かの別にみると、会社などの役員が 84.4%と最も高く、次いで雇用されている人が 82.9%、自営業主・その他が 73.7%などとなっている。

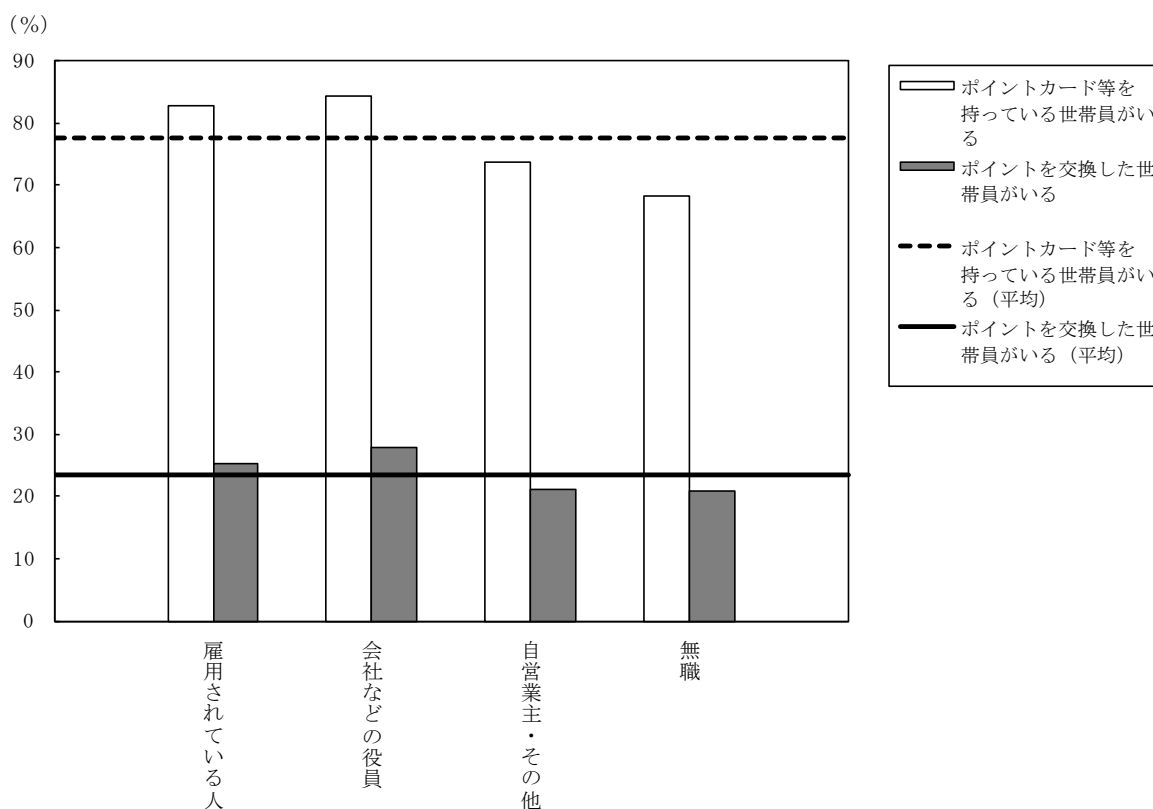
また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合を世帯主の勤めか自営かの別にみると、会社などの役員が 27.8%と最も高くなっている。(表 27、図 27)

表 27 世帯主の勤めか自営かの別ポイントカード等の保有状況の推移（二人以上の世帯）

	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
(%)					
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】					
平成20年	69.3	77.1	78.8	64.6	56.9
21	74.8	81.1	82.8	70.4	64.6
22	77.5	82.9	84.4	73.7	68.3
【ポイントを交換した世帯員がいる】					
平成20年	21.4	23.9	27.3	19.4	17.2
21	23.8	25.6	27.5	21.2	21.5
22	23.5	25.3	27.8	21.2	20.8

(注) 勤めか自営かの別ごとの世帯総数に対する割合。図27も同じ。

図 27 世帯主の勤めか自営かの別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）－平成 22 年



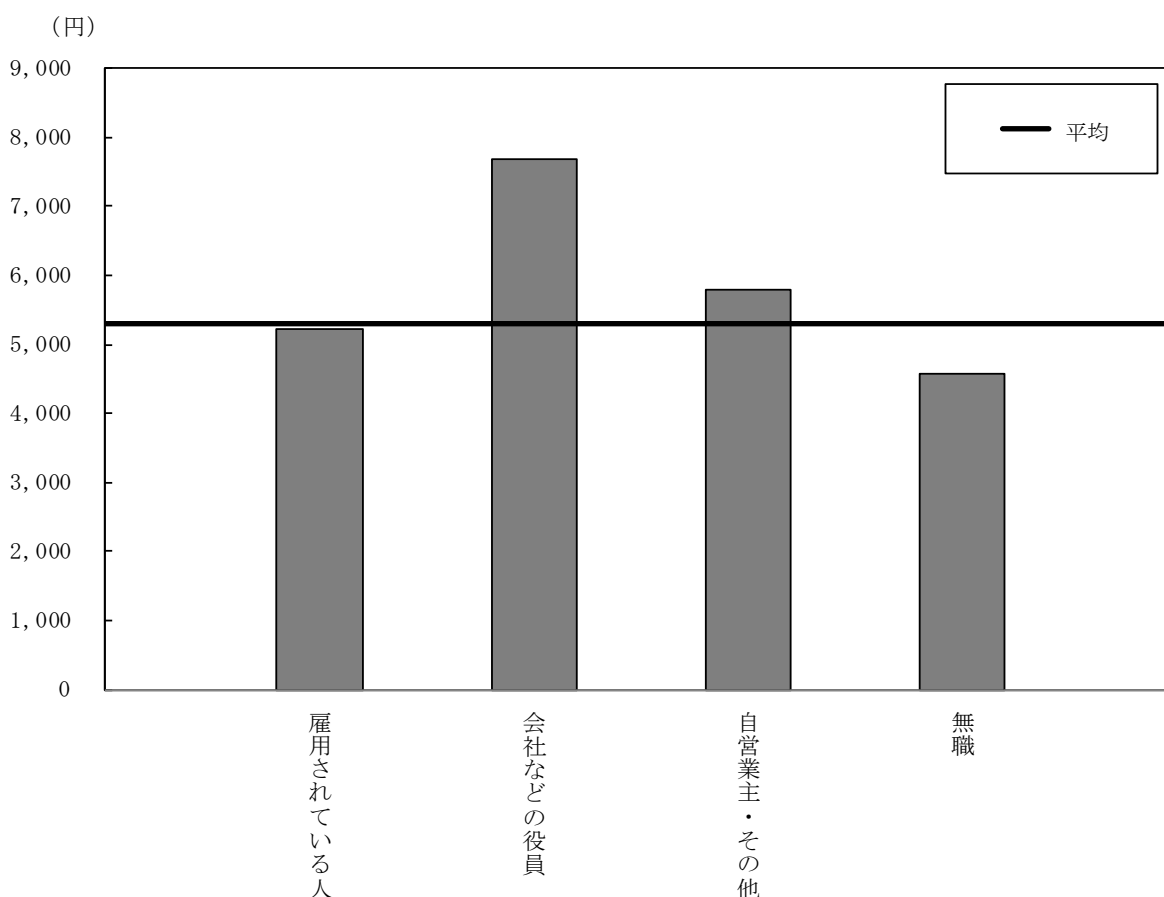
(2) ポイントを交換した金額が最も多いのは会社などの役員の世帯

二人以上の世帯について、ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額を世帯主の勤めか自営かの別にみると、会社などの役員が7,675円と最も多く、次いで自営業主・その他が5,789円、雇用されている人が5,212円などとなっている。(表28、図28)

表28 世帯主の勤めか自営かの別ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額の推移
(二人以上の世帯)

(円)					
	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
平成20年	5,635	5,934	8,756	5,420	4,138
21	4,749	4,907	7,439	4,337	4,111
22	5,300	5,212	7,675	5,789	4,566

図28 世帯主の勤めか自営かの別ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額(二人以上の世帯) - 平成22年



4 年間収入階級別

(1) ポイントを交換した割合は年間収入階級に比例して高くなる傾向

二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を年間収入階級別にみると、年間収入階級が高いほど割合が高くなる傾向があり、500万円以上の世帯が80%を超え、1250万円以上の世帯が90%を超えている。

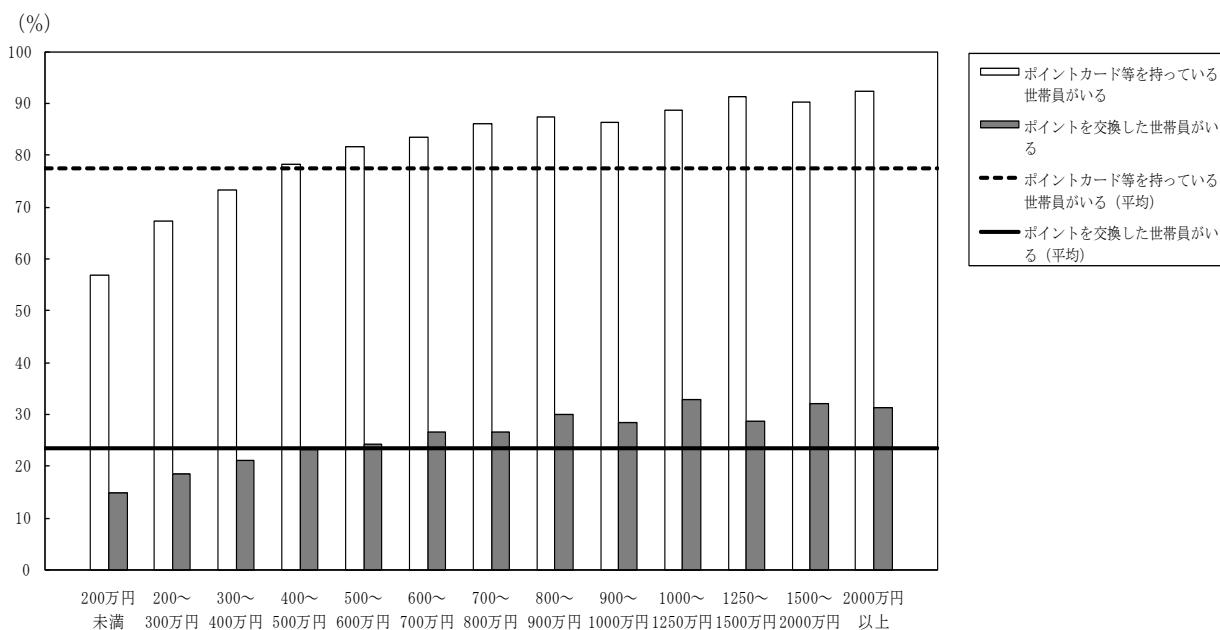
また、ポイント交換した世帯員がいる世帯の割合を年間収入階級別にみると、年間収入階級が高いほど割合が高くなる傾向があり、1000～1250万円未満の世帯が最も高く、32.8%となっている。(表29、図29)

表29 年間収入階級別ポイントカード等の保有状況の推移（二人以上の世帯）

	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】														
平成20年	69.3	46.0	54.5	63.2	68.7	74.3	75.5	79.8	82.8	85.2	85.6	86.8		
21	74.8	52.4	63.4	69.8	75.6	78.9	80.1	83.4	85.9	85.2	88.0	86.8	89.0	87.2
22	77.5	56.9	67.3	73.4	78.2	81.7	83.5	86.1	87.4	86.4	88.8	91.3	90.4	92.3
【ポイントを交換した世帯員がいる】														
平成20年	21.4	12.2	14.9	17.9	20.1	22.0	23.8	25.5	28.0	30.0	30.4	33.3		
21	23.8	16.5	17.9	21.7	22.9	26.9	24.8	26.4	28.5	28.3	31.9	30.9	34.2	30.2
22	23.5	14.9	18.5	21.2	23.3	24.3	26.7	26.5	30.0	28.4	32.8	28.8	32.2	31.4

(注) 年間収入階級ごとの世帯総数に対する割合。図29も同じ。
平成21年から年間収入階級の区分を変更した。

図29 年間収入階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）－平成22年



(2) 年間収入階級 1500 万円以上の世帯ではポイントを交換した金額は 10,000 円を超える

二人以上の世帯について、ポイントを交換した 1 世帯当たり 1 か月間の平均交換金額を年間収入階級別にみると、2000 万円以上が 15,875 円と最も多く、次いで 1500～2000 万円未満が 11,449 円、800～900 万円未満が 9,452 円などとなっている。(表 30、図 30)

表 30 年間収入階級別ポイントを交換した 1 世帯当たり 1 か月間の平均交換金額の推移 (二人以上の世帯)

		(円)												
	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
平成20年	5,635	3,941	2,443	3,696	3,667	4,794	4,560	5,641	5,744		8,375	16,605	12,738	
21	4,749	4,046	3,090	3,518	4,149	4,332	4,593	4,716	4,524	6,389	6,372	7,964	11,104	10,680
22	5,300	2,633	3,611	3,791	4,302	4,494	4,899	4,989	9,452	6,363	7,735	7,618	11,449	15,875

(注) 平成21年から年間収入階級の区分を変更した。

図 30 年間収入階級別ポイントを交換した 1 世帯当たり 1 か月間の平均交換金額(二人以上の世帯) — 平成 22 年

